

県内各地で、皆様と共に



自民党に入党して

一緒に日本を 元気にしよう!

自民党・党員募集

入党資格 お申し込みお待ちしております!

- わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
- 満18歳以上で日本国籍を有する方
- 他政党の党籍を持たない方

自民党公式サイト / <https://www.jimin.jp>
自民党の綱領や政策を詳しく知りたい方はこちらへ▶



党員のメリットは?

異業種交流会など人脈も広がります。
事務所主催の各種イベント、講演会等、各種イベントのご案内!

小林一大事務所発行の広報物や
自民党広報誌など無料でお届け!
政治、経済など、今の状況がわかるので便利。(※家族党員は除く)

費用はどれくらい?

費用について(年間)
一般党員 4,000円
家族党員 2,000円

※家族党員として入党するには、同一世帯に一般党員1名が必要です。

党員になったらどうなる?

新たな義務は発生しません
のでご安心ください。
途中離党も可能です。

WEB申し込み

webからもお申し込み
可能です!

<https://www.kabayashikazuhiro.com/touinbosyu/>

引き続き『小林かずひろ』へのご支援をお願い致します。

主な経歴・プロフィール

平成 4年	新潟県立新潟高校卒業	平成 23年	新潟県議会議員2期目当選
平成 9年	東京大学 経済学部経済学科卒業	平成 27年	新潟県議会議員3期目当選
平成 9年	現・東京海上日動入社	平成 31年	新潟県議会議員4期目当選
平成 14年	妻・由実と結婚		自民党新潟県連政務調査 会長などを務める
平成 17年	同社を退職	令和 4年	第26回 参議院議員 通常選挙 初当選
平成 19年	新潟県議会議員 33歳議会最年少で初当選		

■家族 / 妻(札幌出身)、双子の長男・次男、長女、次女
■趣味 / 読書、映画鑑賞、旅行、ランニング、キャンプ

所属委員会

- 予算委員会(理事)
- 経済産業委員会
- 参議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会
- 憲法審査会
- 青年局顧問
- 女性局次長
- 広報戦略局次長
- 団体総局 社会教育・宗教関係団体委員会副委員長

党本部での役割

SNSで情報発信しています!



自由民主党新潟県参議院選挙区第一支部

参議院議員 小林一大 事務所

■新潟事務所 〒950-0941 新潟県新潟市中央区女池5-9-19 カリテス 1-2
TEL:025-383-6696 FAX:025-383-6151
■国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館416号室
TEL:03-6550-0416 FAX:03-6551-0416



ふるさと くに
新潟の声を、日本の未来に。

参議院議員

小林一大

こばやし かずひろ

発行所 / 自由民主党新潟県参議院選挙区第一支部
〒950-0941 新潟県新潟市中央区女池5-9-19 カリテス 1-2 TEL:025-383-6696 FAX:025-383-6151

ご挨拶

皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は大変なご支援ご協力を頂いておりありがたく厚く御礼申し上げます。

元日に発生した令和6年能登半島地震。県内でも大変な被害が出てしまいました。改めてお亡くなりになられた方々に哀悼の誠を捧げ、被災された全ての方々にお見舞い申し上げます。厳しい環境下、自治体、自衛隊、消防・警察はじめご支援頂いている全ての皆さまの迅速かつ徹底したご対応に深く感謝申し上げます。改めて被災地の実情や被災者の方々に寄り添った復旧・復興に向けて全力で取り組んで参ります。

さて先日本会議で令和6年度予算を賛成多数可決しました。令和6年一般会計の総額は112兆5717億円。能登半島地震の被災地支援を切れ目なく行うため、予備費を5千億円から1兆円に増額した上で改めて閣議決定、今後喫緊の課題である同地震への対応をはじめ、わが国が直面するさまざまな政策課題にスピード感を持って取り組んで参ります。

また現在派閥の政治資金に関わる問題によって、国民の皆様から多くの疑念を招き、深刻な政治不信を引き起こす結果となっております。党則、党規律規約、ガバナンスコードの改正を3月の党大会にて行い、また政治資金規正法改正についても議員の責任強化、外部監査の強化、デジタル化による透明性向上の3つの視点から今後しっかり取り組んで行かなければなりません。総理も常におっしゃいますが「信なくば立たず」。改めてこの言葉を胸に、一議員として信頼回復に向け精一杯努力を重ねて参ります。



予算委員会(理事)

国会議事堂(参議院側)



なお、通常国会では予算委員会理事として議会運営に参画させて頂く場面も経験させて頂いております。また3月にはNHKテレビ中継入りのもと、予算委員会にて総理はじめ各大臣に質疑をさせて頂くこともできました(詳細は別途)。今後とも新潟県の声を国の未来に役立てるため、微力ではありますが、全力を尽くして参ります。

最後になりますが、引き続き変わらぬご指導ご鞭撻を何卒宜しくお願い申し上げます。

参議院議員 小林一大